

Multinucleated blastomeres 胚でも
胚盤胞移植では
より高い妊娠率が得られる

医療法人 紀映会 レディースクリニック北浜

中西裕子 今井和美 幸寺渚 北川春香
上田鈴 篠原三佳 貴志瑞季 金森真希
奥裕嗣

第59回日本生殖医学会学術講演
利益相反状態の開示

筆頭演者氏名:中西 裕子
所属:医療法人 紀映会 レディースクリニック北浜

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

目的①

Multinucleated blastomeres (MNB)

胚発育能及び胚移植後の妊娠率が低く、
流産率が高い

発生機序

- ・細胞分裂を伴わない核分裂
- ・染色体の不分離
- ・核のフラグメンテーション etc.

➡ 染色体異常率が高い

当院胚盤胞到達率：MNB胚45.2%、非MNB胚70.7% ($P < 0.01$)

MNBはARTにおける
胚のセレクションの重要な指標の一つ

目的②

今回、採卵から二日目でMNBが認められた胚をホルモン補充周期にて凍結胚移植を行った症例

①分割胚移植群及び胚盤胞移植群の妊娠率

②妊娠症例の妊娠経過

③胚盤胞移植群での良好胚盤胞率

以上について報告する

対象

・2011年1月～2014年1月

- ・採卵から二日目にMNBが認められた胚を、採卵から2日目または胚盤胞まで培養し、凍結保存後、ホルモン補充周期にて胚移植を行った症例

方法

A群:分割胚移植群 10症例 38.0±1.4歳
B群:胚盤胞移植群 6症例 36.7±5.0歳

①A群及びB群の移植時期における妊娠率の検討

②妊娠症例の経過調査

③B群の妊娠症例及び非妊娠症例における
移植胚の良好胚盤胞率の検討

*良好胚盤胞はガードナー分類によるBL3BB以上

結果①

①A群及びB群における妊娠率

A群	妊娠率	10.0%
	妊娠	1症例(a)
	非妊娠	9症例
B群	妊娠率	33.3%
	妊娠	2症例(b,c)
	非妊娠	4症例

結果②

②妊娠経過

	A群	B群	
	a	b	c
年齢	38	36	33
不妊原因	不明	男性因子	男性因子 卵管因子 内膜症
移植胚グレード/ スコアリング	G2-4 × 2	BL5AA	BL3AA
週数	9W+5	41w+5	41w+0
予後	IUFD 47xx,+14	帝王切開 3056g ♀ AP9 異常なし	帝王切開 3398g ♀ AP8 異常なし

結果③

③B群における妊娠症例と非妊娠症例の良好胚盤胞率

B群		
妊娠判定	妊娠	非妊娠
スコアリング	BL5AA BL3AA	BL3BB BL4BC BL2 Morula
良好胚盤胞率	100.0%	25.0%

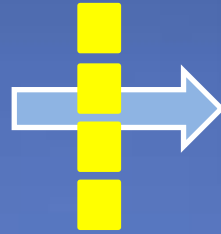
考察

- ①胚盤胞移植群の妊娠率が分割胚移植群と比較し高い傾向にあったことから、初期胚でMNBが観察されても胚盤胞に発育した場合、分割胚で移植するより高い妊娠率が得られる可能性がある
- ②胚盤胞移植で妊娠した2症例の児は正常であった
- ③さらに2症例ともに良好胚盤胞を移植しており、MNB胚でも胚盤胞まで培養し、良好胚盤胞に発育した場合にはより高い妊娠率が得られる可能性がある
- ④以上のことより、胚盤胞まで発育させることで、複数のセレクションが行われ、染色体異常の可能性が低くなることが示唆された

総括

セレクション

MNBが観察された
分割期胚



胚盤胞

より高い妊娠率

初期胚でMNBが観察されても胚盤胞に発育した場合、
分割胚で移植するより高い妊娠率が得られる可能性があり、
さらに良好胚に発育した場合には、より高い妊娠率が
得られる可能性がある

**MNB胚でも胚盤胞まで培養し、良好胚盤胞に発育させ
移植をすることは、治療方針の選択肢一つ**